

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床生化学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	402
担 当 教 員	荒木 剛	実務経験と その関連資格	島根大学医学部附属病院で臨床検査技師として活躍			
《授業科目における学習内容》						
病態と生理機能(呼吸・循環・代謝・神経・筋)との関連および検査方法、その他について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床工学技士標準テキスト						
《授業外における学習方法》						
予習・復習を行い各単限の理解度を上げておく						
《履修に当たっての留意点》						
わからないことをそのままにせず、各単限は必ず理解しておく						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	細胞の働きと内部環境に関して理解し説明できる	臨床工学技士標準 テキスト	特になし	
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、細胞・内部環境			
第2回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	筋・運動について理解し説明できる	臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	筋・運動について			
第3回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	筋肉について理解し説明できる	臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	筋肉について			
第4回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	末梢神経について理解し説明できる	臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	神経(末梢神経)について			
第5回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	自律神経について理解し説明できる	臨床工学技士標準 テキスト	前回の復習と次の単限 の予習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	神経(自律神経)について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	中枢神経について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	神経(中枢神経)について		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代謝と栄養の関係を理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	栄養・代謝について		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	体温調整について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	代謝(体温調整)について		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	循環器関連について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	循環について		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器関連について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	呼吸について		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腎代謝について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	腎代謝について		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	消化器について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	消化器について		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内分泌について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	内分泌について		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	免疫について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	免疫について		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	生殖について理解し説明できる	臨床工学技士標準テキスト	前回の復習と次の単限の予習をしておく
		各コマにおける授業予定	生殖について		